



令和5年度 決算の状況について

- ◆令和5年度一般会計の実質収支は、昨年度から2.0億円減少し12.1億円
- ◆予算対比での実質収支の主な要因は、地方交付税の増（+2.8億円）や特別会計への繰出金の減（▲1.4億円）など
- ◆実質収支12.1億円は、今後の財政需要に対応するとともに、将来の財政負担を見据えた基金への積立てなどに活用

《決算の概要》

(単位：千円)

年度	①歳入	②歳出	③形式収支 (①-②)	④繰越すべき 財 源	⑤実質収支 (③-④)	⑥単年度 収 支 (前年度実質収支 との差額)
R05	21,848,064	20,297,658	1,550,406	336,614	1,213,792	▲196,204
R04	21,541,884	19,715,448	1,826,436	416,440	1,409,996	▲393,825
R03	21,417,114	19,203,886	2,213,228	409,407	1,803,821	319,124

(実質収支の主な要因) ※予算対比 (一般財源ベース)

歳入	地方交付税の増 (特別交付税の増)	+2.8億円
	R4実質収支の残額 (R4→R5の繰越金)	+0.4億円
歳出	特別会計への繰出金の減	▲1.4億円
	障がい福祉サービス費等給付費の減	▲0.8億円
	除雪費用の減	▲0.6億円

実質収支12.1億円のうち
3.5億円(9月補正予算後
：前年度同期5.4億円)を
前年度からの繰越金とし
て令和6年度歳入予算に
計上済

(参考) 基金年度末残高の推移 ※土地開発基金・特別会計基金は除く

(単位：千円)

年度	基金残高	うち公共施設整備基金残高 (R8年度末目標額20億円)	うち財政調整基金残高
R05	4,629,163	1,763,905	1,262,437
R04	4,055,758	1,286,883	1,062,416
R03	3,056,868	666,868	862,399